

西日本豪雨支援活動のご報告

Ver.03 (2018.Nov)

2018年7月5日、「平成最悪の豪雨」と言われる災害が西日本各地を襲いました。発災翌日から緊急支援活動を開始したA-PADジャパンは、被災地内外の企業・NGO・行政などと協力してさまざまな活動を展開してきました。ご支援いただいたみなさまに、今日までの活動についてご報告いたします。



緊急支援物資の調達・配送

発災直後からニーズ調査を開始し、自治体や企業、NPOなどと協力しながら、避難所や在宅避難者に緊急支援物資を配布しました。



A-PAD ジャパンの活動地



レスキュープロジェクト

発災翌日にヘリと水陸両用車で被災地に入り、医師とともに水没した病院の患者らを救出。救助犬による行方不明者の捜索も行いました。



トレーラー・車両の貸与

複数のトレーラーを被災地に運び、患者の診療にあたる医師の仮設診療所やNPOの事務所などとして利用されています。また、地域の訪問看護を担うNPO団体などに車両を貸し出し日夜働く看護師たちの足として活用されています。





Voice ～被災地からたくさんの声が届きました

「患者の命が助かりました」

「(A-PAD 日本の)ヘリヤポートでの救急搬送のおかげで病院に取り残されていた患者の命が助かりました」
—by 豪雨で浸水したまび記念病院の院長@岡山・真備町



「お医者さんがいてくれて良かった」

「避難生活が続き体調不良に。夜も気軽に相談できるお医者さんがいてくれて安心」
—by 仮設トレーラー診療所の患者@岡山・真備町



「たくさんの絵本をありがとうございます」

「子どもたちの遊び場も浸水しましたが、届けてくれた絵本に皆、大喜びです！」
—by 保育園スタッフ@愛媛・江田島市



「きれいな下着！」

「数日ぶりにやっと着替えられる！」
—by 緊急支援物資の下着を受け取った避難者@岡山&広島



「ひんやり気持ちいい～」

「暑いなかの泥出し作業は大変！ いただいた冷感シート、とっても気持ちいいです」
—by 在宅避難者の男性@広島・呉市

「空飛ぶ医師団」より皆さまへ ご寄付のお礼とご報告

gcf/457



佐賀県「ふるさと納税」を通じたご寄付1,020万円

A-PAD 日本の西日本豪雨緊急支援活動に対し、「ふるさと納税」(佐賀県 NPO 支援枠)を通じて、551 人の方から 1,020 万円のご寄付を頂戴しました(2018 年 7 月 7 日～9 月 30 日)。ご支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

西日本豪雨の経験とネットワークは、その後の北海道地震の支援活動でも生かされています。

佐賀大学の医師・看護師や救助犬などで構成される A-PAD 日本の緊急チーム「空飛ぶ医師団」は、佐賀県のふるさと納税を通じた寄付など、多くの皆さまに支えられています。継続したご寄付が災害時に役立ちます。これからもよろしく願いいたします。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/457>

(期間：2018 年 11 月 1 日～2019 年 1 月 31 日)



A-PAD日本

840-0831 佐賀県佐賀市松原1-3-5ゼロワン佐賀ビル6F Tel:0952-20-2900 toiawase@apadm.org
<http://a-padj.org/index.html>



<https://www.facebook.com/apadjapan/>